

ちょっぴり不気味で
ユーモラス



『おおきなかぼちゃ』
エリカ・シルバーマン/作
S.D.シンドラー/絵
おびかゆうこ/訳
主婦の友社

パンプキンパイを作りたい魔女ですが、かぼちゃがなかなか抜けません。そこに、ゴーストや吸血鬼などがやってきて…「おおきなかぼと似た！」と気づいた子どもに大ウケのコミカルな一冊。

赤ちゃんから楽しめる



『ハロウィンのかくれんぼ』
いしかわこうじ/作
ポプラ社

かくれんぼしているものを当てっこして遊ぶ、「かたぬきえほん」シリーズの一作。ハロウィンにまつわるものが原色で描かれ、赤ちゃんから楽しめます。英語表記もあり。



たくさんの
お菓子にわくわく



『トリック オア トリート!』
岡村志満子/作
くもん出版

とっておきの仮装で近所の家を回る子どもたち。どんなお家で、どんなお菓子がもらえるかな? シンプルな線り返し遊びが楽しく、蓄光インクを使った光るページも!

ハロウィンの お話

日本でもすっかり定着したハロウィン。仮装をしたり、かぼちゃのおやつを食べたり…子どもと一緒に、絵本でハロウィン気分を味わってみては?

由来を
知りたいなら



『ゆめちゃんのハロウィーン』
高林麻里/作
講談社

アメリカで暮らしたことがある著者が、自身の経験を元にしたお話。海外のお友達がハロウィンを楽しむ様子がよく理解でき、あとがきには由来の説明もされています。

ハロウィンの
おやつ
参考にも



『ぐりとぐらとすみれちゃん』
なかがわりえこ/作
やまわき ゆりこ/絵
福音館書店

ぐりとぐらシリーズに新しいお友だち、すみれちゃんが出た、かぼちゃのお話。かぼちゃのべたべたやき、プリン、おせんべい…と、おいしいそうなお料理がたくさん登場します。



親子の絵本時間

びったりが見つかる

picture books

バックナンバーは
メディアサイトで



今月の
質問

おばけが怖いけど好き…という娘。
可愛いおばけの話があれば知りたいです。
(2才女の子のママ)

10月はハロウィンもあり、おばけの絵本を選ぶ機会も出てきそうですね。私たちがのお話し会で活躍しているのが、「ばけけけけけけ ばけたくん」(*1)。誰かのお家でつまみ食いをする、おばけのばけたくん。べろべろキャンデーを食べたらうずまきに、いちごを食べたら真つ



(*1)
岩田明子/文・絵
大日本図書

赤に、どんどん変身していきます。シユワシユワのメロンソーダやねばねばの納豆では…? シンブルながらユーモアたっぷり、リズムミカルな言葉も楽しいですよ。シリーズもたくさん出ています。
「どろんじゅうやまのおよんおばけ」(*2)は、おばけの一家のお話。6人



(*2)
おおいじゅんこ/作・絵
教育画館

きょうだいの1人、飛ぶ練習を怠けた「おばゆうたん」のピンチを、意外な方法で解決します。ほのぼのした可愛らしい絵柄も魅力です。
遊びながら読むなら、「へんなおばけ」(*3)もおススメ。白い布を被っておばけになる、色々な動物たち。最後に出てきた本物のおばけは…。おうちでもぜひ、おばけごっこをしてみてくださいね。



(*3)
大森裕子/作
白泉社